



島根半島・宍道湖中海 ジオパーク通信



出雲国風土記の
自然と歴史に出合う大地

2022.07
Vol.1

協議会会員の紹介・ジオサイト見どころ紹介 シリーズ1
第11回 日本ジオパーク全国大会・再認定審査
海のアクティビティ紹介・調査班リポート
ガイドの活動／四十二浦ウォーキング・令和4年度～7年度推進行動計画

協議会会員の紹介 加賀まるごと博物館



加賀まるごと博物館
理事 船本 力氏

桂島海岸清掃を児童・生徒と一緒に!

6月13日にしまね潮風学園(島根小学校・島根中学校)が主催する桂島海岸清掃活動があり、加賀観光協会、加賀まるごと博物館の関係者も含め200人余りがごみ拾いに汗を流しました。低学年は砂浜の海岸、小4以上は沖の浜岩場の清掃です。プラごみ、ロープや浮きなどの漁具、空き瓶などもあり、みるみるうちにごみ袋は満杯になりました。児童・生徒たちは「夏に桂島を訪れる人たちが気持ちよく過ごせるように」と言います。小中一貫教育のひとつとして長年続けられている活動を会員たちは危険がないよう見守ったり、触っていいごみかどうかの判断などでサポートしました。

私たちは加賀地区の歴史的財産を活かした地域づくりを目的に平成28年に設立した団体です。ジオパーク松江ビジターセンターの案内業務を行う他、加賀の歴史や地理などの勉強会の開催や、加賀地区の津波に対する避難所整備、桂島のガド養成、各学校のジオ・地質学習の支援などを行っています。また「海ひこ山ひこ地域間協議会」をつくり、年に6回奥出雲町馬木地区と物産の相互交換事業や子どもたちの交流事業を行っています。今後は地域の若い人たちの参加を増やす活動をきっかけ、子どもたちや若者のエネルギーと高齢者の経験と知恵を活かして地域を元気にしていくよう取り組んでいきます。



桂島での海岸清掃活動



ジオパークの見どころ、
ジオサイトを紹介するぞ!

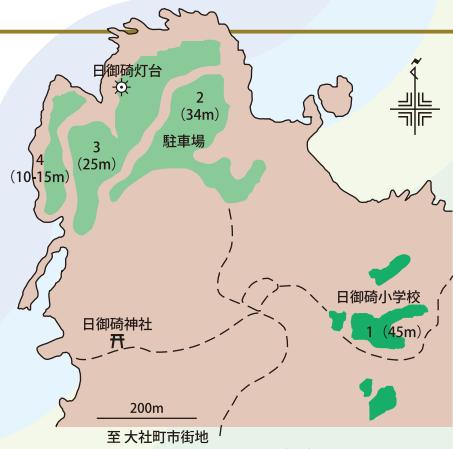
ジオサイト見どころ紹介 シリーズ1 日御崎 (ひのみさき)

～海成段丘から知る島根半島西端の成り立ち～



日御崎は溶岩ドームから形成された柱状節理の地質、日御崎神社など豊かな歴史文化、ウミネコ繁殖地として天然記念物になっている経島、特産板ワカメの産地の一つでもあり、コロナ禍以前には年間100万人以上が訪れていた当ジオパークの中でも屈指の人気観光地です。大社エリアでは今年のGWでコロナ禍前のおよそ6割まで観光客が回復しており、出雲観光協会が今年度の開催を計画するトレッキングツアーでのジオガドの躍が期待されています。

この日御崎には海成段丘と呼ばれる地形があります。出雲日御崎灯台の立つ場所はもともと平坦な段丘だったところですが、絶え間なく打ち寄せる波が岩を削り、海面すれすれの高さに波食棚が形成され、それが後の地殻変動により隆起したものであります。現在の駐車場、元日御崎小学校跡の成り立ちも海成段丘ということです。灯台から経島付近へと平坦な遊歩道が続く日御崎の海岸は海成段丘のおかげでもあります。日御崎海成段丘の分布等の資料としては成瀬敏郎著「出雲の山・川・平野・海岸」があり、松江・出雲の図書館で閲覧できます。



(図) 日御崎の段丘面

日御崎海成段丘の分布

日御崎には、灯台のある場所に平坦な海成段丘が分布しているほか、公営駐車場のある場所と日御崎小学校付近にも段丘が見られます。(図) 日御崎灯台が建っている段丘3は標高25mで、段丘上にはかつての海浜に堆積した円礫層が残っています。この段丘の東側には比高約9mの崖があり、崖の上には公営駐車場などがある標高34mの段丘2が分布しています。

「出雲の山・川・平野・海岸」
発行 2014 年 (有) 高浜印刷

海のアクティビティ紹介 ダイビングステーション AQUA 工房

ジオパークの魅力を伝える
事業者の皆さんを紹介するぞ!



トビエイの群舞に出会い、 海底遺跡に古代の祈りを感じる。

日御崎の海中には断崖絶壁がそのまま沈んだようなダイナミックな景観がひろがっています。そして全長2mにもなるトビエイの群舞、ヒラマサ、クエ、コブダイなどワイルド系の魚影の濃さも魅力的でした。岡本さんはこの海に魅かれ21年前にダイビングステーション「AQUA工房」を設立、日御崎の海中の素晴らしさを発信してきました。しかし潜っているうちに他の海とは何かが違うと感じるようになりました。「平原なところがあつたり人工的なものがあつたり、最初は不思議だなと思っていた」といいます。そしてボングイという沖合のスポットで石組みの階段を発見。これは何だろうとさらに調査をすると、参道や祭祀場らしきものも見つかり、サドガセというスポットでは鎮座洞窟や滝の跡、滝の下には亀の形に整えられた石を見つけこれは古代遺跡だと確信しました。その後専門家らと調査を進めるうちに日御崎の海底遺跡が巨石信仰とアマテラス崇拜の地であったことがわかつきました。

「AQUA工房」ではワイルドからマクロ系の魚を間近に見るダイビング、海底遺跡探訪、シュノーケリングなど初心者からでも楽しめる体験メニューを揃え、各種ライセンス講習も行っています。山陽・関西方面から多くのダイバーが訪れる日御崎の人気スポットです。



日御崎の海底遺跡



全長 2m にもなるトビエイの群舞



ダイビングステーションAQUA工房
代表 岡本哲夫氏

お問い合わせ先／ダイビングステーション AQUA 工房
出雲市大社町日御崎 450 TEL.0853-54-5711

調査班リポート



トレールコース（イメージ）



松江市本庄町の忠山から枕木山へのルート

島根半島ロングトレールコースの 可能性を調査しています

3月28日の協議会令和3年度定例総会で、今年度事業として当ジオパークのロングトレールコースの検討をとり上げ、参加した会員に関心を持っていただきました。トレールとは森や林、山岳や里山にある「歩くための道」のこと。こうした道を歩く旅をするのもトレールと呼ばれています。当ジオパークのロングトレールは、島根半島の美保関灯台から出雲日御崎灯台まで、できるだけ山中を歩いて旅ができるようにしようというものです。現在事務局で汗だくになりながら、島根半島の山道を調査して歩いています。

太くて処理が難しい倒木やすぐに伸びる竹が生えた場所、日が当たって草が茂った所があり、整備が必要な所を見逃さないようにしています。<調査班：三代、植田>

島根半島を横断するロング
トレールコースを検討中だ！



第11回日本ジオパーク全国大会

令和3年10月に第11回
日本ジオパーク全国大会を
主催したぞ!



全国から600名がオンラインで参加し盛況に開催

令和3年10月3日～5日に「第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会」を「今、なぜジオパーク?国引きの地から持続可能な地域づくりを考える」をテーマにオンラインで開催しました。開会式や講演は松江市の「くにびきメッセ」から全国へ配信し、なかでも小泉八雲記念館の小泉凡館長による特別講演「小泉八雲、『ジオ』へのまなざし」は、「ジオパークを文学的視点から眺める新鮮な体験ができた」「風景へのまなざしの中に人間への信頼と愛が滲む講演者の語り口は白樺派の文学作品のようであった」とアンケートに寄せられたように、ジオパークと文学との関わりを紐解く一筋の光となったようです。

上定会長(松江市長)がファシリテーターを担った市町村長セッションやその他の分科会もオンラインではありました。全国のジオパーク関係者により活発に議論され、たいへん高い評価を得ることができました。

大会前後に予定していたジオツアーやは中止しましたが、出雲国ジオガイドの会によるオンラインジオツアーを10月2日にYouTubeで配信し好評を博しました。

また、10月3日には地域住民向けのプログラムとして、巨石にまつわる文化の講演・シンポジウム、全国のジオパーク展示などを出雲市の「ビッグハート出雲」で開催し、コロナ禍で来場者を島根県民に限定したものの200名を超える方が訪れ、同時にオンライン配信も行うことで多くの方々にジオパークをPRすることができました。



開会式の上定会長（松江市長）あいさつ



オンライン開催の分科会の様子



ジオパークは4年に一度、
調査員をむかえ、現地調
査を受けるんだ!

日本ジオパークの再認定審査



日御碕での説明の様子



八束公民館での取組み説明



出雲科学館での取組み説明

4年間の再認定となりました

島根半島・宍道湖中海ジオパークは、平成29年12月に日本ジオパークの認定を受け、初めての再認定審査を令和3年度に受けました。令和3年10月29日から3日間の日程で現地調査が行われ、藁谷哲也氏(わらがいでつや:日本大学文理学部地理学科教授)と新名阿津子氏(にいなあづこ:日本ジオパーク委員会委員、東北公益文科大学公益学部准教授)の二人が調査員で来られました。

1日目は上定会長(松江市長)との面会を皮切りに松江ビターセンターや桂島、大根島、来待ストーンミュージアムなどを視察。2日目は飯塚副会長(出雲市長)との面会から斐伊川、築地松、出雲科学館、小伊津海岸、日御碕を視察しました。この2日間で両市長を含めてジオガイド、公民館長、コミュニティセンター長、活動団体代表など60名余りがヒアリング会場のみならず移動の車中でも代わる代わる調査員に説明し、調査員は絶えずメモを取りながら質問をするなど充実した調査を実施しました。ジオガイドで宍道湖魚類研究会に所属する桑原弘道氏が、移動の車中に宍道湖の生きたハゼやモクズガニを水槽に入れて持ち込まれ、モクズガニの雌雄の見分けた話をしながら、触ってくださいと調査員に勧める場面もありました。3日目は事務局へのヒアリングと意見交換を行い、3日間の現地調査は終了となりました。

令和4年1月28日に再認定審査結果が公表され、皆様のお陰で無事に4年間の再認定となりました。活動について改善すべき点についても指摘されており、今後4年間で着実に改善していきます。



再認定審査結果の連絡を受けた上定会長（松江市長）

ジオパークの魅力を分かりやすく、
楽しく伝えるガイドの活動紹介だ!



ガイドの活動／四十二浦ウォーキング



出雲国ジオガイドの会の渡部さん（左）と松原さん（右）のお二人。



小伊津海岸の洗濯岩見学



ツアーモードチラシ



今後4年間のジオパーク活動の
方向性や具体的な内容を示す
推進行動計画を策定したぞ！

ジオパーク活動のより一層の発展をめざして

令和4年度から、4カ年の推進行動計画を策定するため、3月28日のジオパーク推進協議会令和3年度定例総会で計画素案を提示し、関係者から意見をいただくことにしました。多くの皆様からいただいた意見を計画に反映し、7月15日の臨時総会で決定しました。

令和4年度～7年度 推進行動計画 (マスタープラン・アクションプラン)

【推進行動計画の概要】

推進行動計画は、マスタープランとアクションプランで構成します。

マスタープラン

4年間の取組の方向性を示す計画

- 島根半島・宍道湖中海ジオパークの概要、特徴
- 活動を通じて目指す地域像
- 活動の「4つの主軸」「7つの取組」

アクションプラン

マスタープランで示す目指す地域像の実現や、令和3年度日本ジオパーク再認定審査での指摘事項への対応のための具体的な内容や道筋を示す計画

- 「重点取組」7つの取組（「まもる」「しる」「はぐくむ」「つたえる」「つくる」「ささえる」「むすぶ」）ごとに取組を記載
- 取組スケジュール、重要業績評価指標（KPI）を記載

『秘密結社鷹の爪』との コラボレーションによる動画配信中



編集後記

今年度から会報誌の製作を開始しました。皆様、内容はいかがでしょうか？感想があれば、ぜひ事務局にお寄せください。

これから定期的に会報誌を発行して、ジオパークの魅力を発信しますので、お楽しみに！

ジオパークってエキサイティングでファッショナブルだろ！

編集者

発行者：島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会

[松江市役所 ジオパーク推進室]

〒690-8540 島根県松江市末次町 86 番地

TEL : 0852-55-5399 FAX : 0852-55-5070

E-mail : kumibiki-geopark@city.matsue.lg.jp

[出雲市役所政策企画課 ジオパーク係]

〒693-8530 島根県出雲市今市町 70 番地

TEL : 0853-21-6612 FAX : 0853-21-6752

E-mail : seisaku@city.izumo.shimane.jp



島根半島・宍道湖中海ジオパーク 日本ジオパークネットワーク